

同友

よい会社をつくろう／よい経営者になろう／よい経営環境をつくろう

やまがた

12
2013
DECEMBER

山形県中小企業家同友会
月刊 同友
やまがた



新入社員フォローアップ研修

夢を持つことに背中を押してもらった!
自分を見直し、なりたい自分を描く、ビジョン作りに挑戦

第26回社員共育活動全国研修・交流会開催
共に生き・共に育つ・人間尊重の企業づくりを学ぶ

第17回障害者問題全国交流会
共に働き、育ち合う、その素晴らしさを広げよう!

中小企業振興条例元年

魅力を集い、
共に歩もう!

夢を持つことに背中を押してもらった！ 自分を見直し、なりたい自分を描く、ビジョン作りに挑戦

10/28、社員共育委員会が主催した新入社員フォローアップ研修がビッグウイングで開催されました。4月の新入社員研修から半年、たくさんの失敗を経験しながらも先輩や上司に支えられ、自分の居場所をつくり、自分のビジョン作成にも挑戦しました。新たな取り組みとして、会場を移動し酒席マナー講習も実施しました。



悩みながらもやり甲斐をみつけていく

はじめに体験報告として、「6ヶ月間の仕事を通して」のテーマで田宮印刷(株)佐藤さん、(株)東北テレネット加藤さん、山形オートリサイクルセンター(株)寺田さんの3名が報告しました。

その中では、「入社して6ヶ月が経ち、自社名を名乗る事にも慣れてきた。」「顔を覚えて頂く機会が多くなってきてうれしい。」「今担当している仕事は時間が経つのがとても早く感じて、やり甲斐を感じてきています。」といった一方、「お客様への対応や人間関係に悩み、体調を壊し入社寸前までいってしまった。」「失敗ばかりでとても悩んでいます。」との体験を報告しました。

また、「ミスもありましたが、落ち込むのではなくどうすればミスをしなくなるのかを考え、今後の自分に繋げていくことが大事だと思う。」「明日の事も予想がつかないような状況で、3年後は全く想像できませんが、体調管理も仕事をするうえで大切だと思いますので、健康で笑顔で仕事が出来れば良いなと感じています。」との今後の目標が語られ、その中には「どうすればこの会社に貢献できるかを考えながら働き、この会社になくはならない存在になる」と、頼もしい意気込みも語りました。

しかしながら業務中、自動車で道に迷ってしまったり、事故を起こしている社員さんもあり、会社を挙げての課題が見えたように感じました。

続いて「仕事は楽しいですか？～嬉しかったこと、悩んだこと、失敗したこと～」のテーマでグループ討論を行いました。

引き続き(株)アサヒ印刷 岩見信弘社長が「働くとは」のテーマで、これまでの経験や学びから、なぜ働くかという基本中の基本をわかりやすくご講義しました。

自分の成長が人の役に立つ

岩見社長は冒頭、新入社員たちに「仕事とは？」の問いを投げ掛けました。会社の中で一番失敗をしているのは社長である。それは前向きにチャレンジをしているからで、チャレンジして動いた分だけ成功もあるし失敗もあり、それらが成長に繋がっていく。そこから改めて「仕事とは？」を考えると、「自分が成長することによって人の役に立つこと」だと論じます。

自分が成長することで変化が出てくる、仕事の質が変わってくる、お客様の対応が変わってくる、お付き合いするお客様が変わってくる、周りの付き合い合う人が変わってくる、そこに楽しさが見えてくると言います。

そして「成長する」を実践していく上での岩見社長の大好きな言葉として、「修破離」という言葉を挙げました。これは稽古事の守破離ではなく仕事を修めるとしたもので、「修」良いと思うものを徹底して真似る・「破」真似たことを応用する・「離」自分流を打ち出すこと、と述べました。「私は自分を成長させたいと日々思っている。それは社長の成長が会社の成長に繋がるから」という岩見社長は、今でも東京に研修を受けに行っているということでした。

その信条として、「私は社員とその家族の為に“役に立ちたい”が根底にあり、2番目にお客様、3番目に地域社会を幸せにして役に立ちたいと思う。その代り社員の皆さんはお客様を幸せにするという事を、一生懸命にしてほしい。それは結果として地域社会を幸せにすることであり、仕事を通して成長を通して人に役立つことが、会社にとっての命題だから」と語りました。

100年続く企業の人育て

続いて、仕事をする上で大切な事として、「目を見て」「顔



く「表情豊かに」「自分から質問しよう」「メモを取ろう」を挙げ、これらは簡単そうなことだけど出来る人と出来ない人がある。それぞれそのまま1年、2年、3年と経ったらどうなっていると思うか？との問いの中に、「当たり前」の事を、当たり前出来る事って大切だ」というメッセージが込められ、「じんざい」には「人財」「人材」「人在」「人罪」4つがあり、人財を目指してほしいと語りました。

また、「企業は永続しなければならない、できれば成長発展しながら」と、100年以上続く山形県内の老舗企業を例に問題提起し、企業を続けていくためには人を育てなくてはならないと解きました。そして自社の取り組みとして、「挨拶 掃除 朝礼」をどこにも負けないぐらい一生懸命に、当たり前を当たり前徹底してやるのが方針であり、それは仕事をする上で人としてのベースが大事であり、このベースを作るのが「挨拶 掃除 朝礼」を通じて、人を育成することだと論じました。

続いて「自分の人生の設計図を持っていますか？」との問いかけがありました。岩見社長の若い頃の夢やこれまでの仕事での経験をもとに話が進められ、35歳の時ある出会いの中から、「自分の人生をもっと変えようと思った」というエピソードが語られました。3年後、5年後、10年後どうなりたいですか？ゴールがあるかどうか、目標があるかどうかで自分の人生は変わってくる、「すべてはこれまでの選択が現在の結果である」と語り、続けて「人生の中で選択しなければならない場面は沢山あり、そんな時、知識があつたらどちらに行ったら良いのが解る。だから普段から学んでいくこと、勉強することがすごく大事なんだ」と述べました。

後半は人の成長のプロセスとして、「気付く⇒やる事を決める⇒実行する⇒続ける」を挙げ、気付く為に勉強をしていかなければならないとし、これも自社での実践している取り組みの「成功と幸福を呼ぶ言葉一心の方針」・「職場の30の元気ことば」を挙げ、特に「良い習慣をつくる13の徳目」では、自分の成長がわかるように定量化、数値化し、毎日できたかどうかをチェックすることが大事で、ポイントは「悪い

習慣を変えていくのではなく、良い習慣を増やしていくこと」と述べました。最後に岩見社長から「今日、目標設定して自分がやる事を明確にした。それを更に定量化・数値化し、成長に繋げる為に是非実行してください」をまとめのメッセージとして終了しました。

その後昼食時の箱弁マナー研修、そして「2年目の課題や目標」のテーマで2回目のグループ討論後、決意表明を発表し、閉会しました。その後は「第2部 懇親会・酒席マナー」とし、会場をグランロックに移動し、阿部常務を講師にマナー研修も兼ねての懇親会を実施しました。

○参加者の決意表明(一部抜粋)

- ・G 討論で同じ悩みに共感したところが一番プラスになった。ミスをしてその後のフォローが大事だと教えて頂き、人生年表の中で、漠然でも大きな目標をたてて、それに近づけるためには何をしたらいいのかを考え、成長していきたい。
- ・岩見社長の講義の「成果＝考え方×熱意×能力」の中で「考え方」をマイナスにしないために人生の設計図が大事ということで自分の仕事に生かしていきたい。
- ・今回の研修で、夢を大きく持つということに背中を押して頂いた。今は知識不足からミスをしてしまうが、知識を増やし人間性を上げ、感性豊かな人間になり、お客様に相談して良かったと言って頂けるようになりたい。
- ・岩見社長の話の中で、「自分の成長がお客様に役立つ」という所が印象的だった。自分が成長しているかは実感できませんが、1年後2年後と成長しお客様からありがとうと言われる人になりたいと思う。
- ・G 討論で気持ちが楽になった。失敗しても悩んだりせず、わからない事は素直に聴こうと思うようになった。
- ・今は仕事に不慣れなところから、悩みや苦しんで辛い日々だが、本日の研修で乗り越えて努力し続ければ必ず将来は違ったものになると学びました。今の自分を乗り越えるために日々の努力と良い習慣を身に付けて成長していきたい。



第26回社員共育活動全国研修・交流会開催

共に生き・共に育つ・人間尊重の企業づくりを学ぶ

11月20、21日、第26回社員共育活動全国研修・交流会が、「共に生き・共に育つ・人間尊重の企業づくりを学ぶ～自立した人間同士による理念経営を目指して～」をテーマとして、秋田キャッスルホテルにて開かれました。山形同友会からも4名が参加しました。

阿部社員共育委員長より報告が届きましたので、紹介いたします。



田宮印刷(株) 常務取締役 阿部 和人 (社員共育委員長)

一日目に参加した第1分科会では「人材こそゆるぎない企業づくりの根幹」をテーマに赤石相談役と鋤柄会長が報告しました。

「箸にも棒にもかからない社員をどうするか」という視点提起が赤石相談役からあり考えさせられた。出来ない社員と「同じ土俵」という考え方で、どうやって同じ土俵で一緒に考えるのかを学んだ。それは「社員と向き合うのではなく、並んで肩を抱き寄り添い、社員がどこを見ているのかを探りながら一緒に方向性を見出す。それが共に育つと言う事」「社員と同じ土俵に立つ事」というお話には感銘を受けた。

また「社員が自分で稼がなければならない事を教え、目に見える労働環境改善を実施し、全社一丸体制を作り上げる事」が中小企業にとって重要な事だと学んだ。この事から労使見解にある「高い志気のもと、労働者の自発性が発揮される状態を企業内に確立する」という努力が必要だという事を強く感じた。

鋤柄会長からは自社の人材育成の取組みを紹介して頂きその中で「能力無限」という視点提起を頂いた。誰しもがどこかに持っている能力をどう引き出していくのが社員教育の肝だと学んだ。

二日目の基調講演は「ずぶんの(自分の)あだまで(頭で)考えろ」～現代に生きる「やまびこ学校」で培われた「共に育つ」共育～と題して佐藤藤三郎氏が講演し、「自分の頭で考える」というキーワードの内容であった。労使見解に照らし合わせれば「労働者の自発性の発揮」であり支援プログラムではⅢ-①「自主性の発揮」と感じた。

講演で特に印象的だったのは「仕事以外の所で、仕事以外のことで高め合える何かがあると良い」というお話だった。

また「教育とはカリキュラムに沿って教えたり、教わっ

たりするものではなく、生きていく力をつける為に自分の頭で考える事が出来る人を育てる事だ」というお話が自分にとって為になった。

2日間を通して、グループ長を2回担当し、大変勉強になった。全国から集結したハイレベルなグループ討論には圧倒された。

特に2日目のグループは意図してメンバーをあらかじめ決めたグループであり、中同協国吉副会長 中同協本郷社員教育委員長 中同協梶谷社員教育副委員長をはじめとし、秋田の理事の方々を合わせて10名の中でのグループ長は大変であった。

グループ長の力量のなさを実感し、今後も訓練が必要だと強く感じた。

全国大会、それも専門委員会というレベルの高さもあり多くの学びを得る事ができたが「参加者だけが得れる」と強く実感した。今後も全国行事には参加したいと思った。今回、山形からは4名という大変少ない参加であり、再来年の第27回社員教育活動全国研修・交流会が山形で行われる予定でもあることから大変肩身の狭い思いをした。

事前にもっと呼びかけをし、一緒に学び、山形大会の参考にするべきだったと反省した。



共に働き、育ち合う、その素晴らしさを広げよう!

～第17回障害者問題全国交流会(10月24日)に参加して～

株式会社タマツ 代表取締役 玉津 弘之



知的・精神障がい者雇用について、「どう接していいのかわからない」「どんな仕事ができるのか」「手がかかり生産性が劣る」などの不安でいた私の視点を、大きく変えた全国交流会でした。

神奈川同友会会員で知的障がい者施設で書かれた演題バレンより、人間味あふれる一生懸命さを感じました。また、障がい者について関心をもつ同友会企業がこれほど多いことに胸が熱くなり、いつもの全国交流会とは少し違う印象を受けました。

横浜市立大学影山教授より、問題提起「人を生かせば会社も元気～障がい者とともに歩むという戦略～」の講演がなされました。躁うつなどの精神障がい者が急増しており、2018年4月から精神障がい者雇用の義務化が決定しつつも雇用が進まないことの理由に、中小零細企業では厳しい経営状況にあること、生産性が低い障がい者を負担ととらえる思い込みがあることの2点を挙げられました。戦力にするには、①作業しやすい環境を整える②根気強く訓練する③各人の能力に合った仕事をさせる④売れる商品をつくるなど製品付加価値をあげるなどでした。

これは新卒や一般社員にも同じく言えることと感じます。誰にもわかりやすい環境は健常者にも働きやすく、事故やミスが減るなど職場環境が改善される。他にも、人材育成ノウハウが形成され蓄積される。無駄がなくなり作業や業務がやりやすくなる。健常者社員が姿勢を正す。適材適所に基づく分業の効果を引き出すなどの経営改善効果があり、結果会社の業績改善につながるなどの研究発表でした。

続く分科会では雇用をしている会社社長3人、障がい者本人2人の5人でパネルディスカッションがなされました。驚いたことに同じグループに躁うつの方が2人おり、言われるまで健常者と何ら変わりがない姿をみてある疑問が湧きました。

「障がい者という区分けは何だろう？」

病気は誰もががかかります。世の中に完全な人はいませ

ん。みんな不完全でそれを補おうと自分で努力し、周りから助けられて何とか生活しています。それは見えるか見えないかで判断するのか、まれな病気だからか、日常生活ができないことで判断するのか、いろいろと考えた結果「障がい個性」であるという考えに至りました。

脳腫瘍による身体障がい者のパネラーがたどたどしいことばで話す時、いつもより耳も心も集中して彼の話をお聞きし、少ないことばでも気持ちが通じ彼が話すとき温かな気持ちになりました。今の社会に、会社に、経営者に必要なのは、一人ひとりしっかりと理解しようと向き合う姿勢が必要なのではないでしょうか。

少ない指示で仕事ができ、一人がたくさんの業務をこなしてくれれば生産効率が高く企業は楽です。しかし、限られた人間の能力と要求される業務内容の差が精神的ストレスとなり、その結果患者を増やす要因となっています。個性が発揮でき、能力の不足を互いに補い助け合う社会環境が望ましいと感じます。

わが社でも若い女性社員が結婚出産をする時に、女性として働ける環境をどう作るべきかを考え、就業規則育児規定を見直しました。また引きこもり気味のコミュニケーションが取れない社員を迎えた時は、彼自身に合わせて仕事の内容を変え、周りが親の心情で温かく見守って行くことで彼自身が変わり、後輩ができた時にはひとつの仕事を任せられるくらいに成長しました。

人間にはそれぞれに役割と使命があり無限の可能性を秘めています。その能力を発揮できる環境をいかに整えるかは経営者の考えひとつです。

4人に一人が高齢者となる超高齢化社会を迎えている日本、障がい者だからと決めつけるのではなく、それぞれの役割を果たし互いに影響を与えながら個人の生産性向上から組織全体の生産性を高めていける、ノウハウを構築できる会社を創りたいと思います。大変貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。



2014年 新春交流会

危機に対応し 地域に必要とされる企業づくりを学びましょう!

山形同友会の新年幕開け行事「2014年新春交流会」の開催要項が決定しました。

新春講演では、東日本大震災で未曾有の被害に襲われた陸前高田市から(株)高田自動車学校 代表取締役 田村 満氏を講師に迎え、学び合います。

必見です。お誘い合わせの上でのご参加よろしくお願ひ申し上げます。

2014年**1月23日(木)** 受付/午後3時 開会/午後3時30分

第1部 新春講演 15:30 ~ 17:10

グループ討論 17:20 ~ 18:55

第2部 懇親会 19:05 ~ 20:35

会場

山形国際ホテル 山形市香澄町3-4-5 TEL023-633-1313

参加費

第1部 1,000円

第2部 懇親会費 5,000円

講師

(株)高田自動車学校 代表取締役 **田村 満氏** (岩手同友会 代表理事)

ごあいさつ

2014年新春交流会 実行委員長 佐藤一夫



2014年新春交流会の実行委員長を務めさせていただきますエム・エス・アイの佐藤一夫です。

2014年の始まりの新春交流会において、いかに会員企業の皆様に元気なスタートを切っていただけるか、実行委員のメンバーと議論を重ねました。

山形県においては、今後人口減少に拍車がかかり2030年には100万人、2050年には80万人を下回るとの調査結果が出ています。

このような時代に、地域にとっての中小企業の存在価値をどう発揮していくのか、地域から必要とされる企業とはどのような企業なのかを考え、危機に対応できる強靱な企業づくりを学んでいきたいと思ひます。

講演には、岩手同友会代表理事で(株)高田自動車学校 代表取締役 田村 満氏をお迎えしてご講演いただきます。

田村社長は、震災後の陸前高田市の復興に力を注ぎ、地域振興の担い手としてご活躍されています。

新春にふさわしい交流会になるよう新春交流会の進行スタッフには山形同友会の飛び切り元気なメンバーをそろえました。残り少ない時間となりましたが万全のスタッフ体制で準備してまいります。

是非、新春交流会に参加していただき、今後とも地元山形においてお客様に必要とされる企業になれるよう、会内外の経営者との交流を深めて行きましよう。

第7回理事会報告

◆日時:2013年11月13日(水) ◆会場:同友会事務局 ◆議長:青柳副代表理事
◆出席:青柳、阿部(和)、阿部(秀)、安藤、及川、後藤、齋藤、島貴、庄司、中村、川合相談役、事務局:伊藤、矢作、高橋 出席数:14名

議長を青柳副代表理事が務め、安藤代表理事の開会挨拶で始まり、下記の議事をすすめた。

■報告事項

1) 中同協関連

- ①第17回障害者問題全国交流会(10/24, 25)(玉津理事のレポート)
- ②中同協第2回幹事会(11/1)について、中村副代表理事が、中同協が行ったドイツ・オーストリア視察、e. d o y uシステム等について報告。感想として、①社会性、人間性を担保する科学性の必要性、②来年度、「経営指針文化の手引き」の全面改訂にともない山形同友会の意見を反映させていく。③規模別の事務局の在り方、山形同友会のビジョン・目標を役員と共有し育ちあう仕組みが必要。④山形同友会として、共同求人、エネルギーシフト等の取組みが必要とまとめた。

2) 委員会・部会関連

- ①社員共有委員会の阿部委員長より、新入社員フォローアップ研修の特徴として、退職者があり参加者が減ったこと、最後に各グループ長からのメッセージ、弁当・酒席のマナー研修を取り入れたとの報告があった。幹部社員研修第1講では、村松社長の実践報告に学び、第2講までの約1か月間の実践課題があることを報告した。
- ②女性部会の10月例会について、庄司理事より、決算書から自社の経営課題を掴む学習会だったことを報告。
- 3) 事務局就業規則の改正の進捗状況について、安藤代表理事より報告があった。
- 4) 10月月次決算報告(伊藤事務局長)。会費未納の対処について確認。

■承認事項

- 1) 入・退会承認 5名入会 3名退会 11/13日現在 408名
- 2) 第11回経営研究集会の取り組みについて、庄司実行委員長より報告。
 - ①参加状況と各支部目標達成に向けて、引き続き奮闘の要請があった。
 - ②役割分担とタイムスケジュールの最終確認。
 - ③グループ討論スキルアップ勉強会(11/6 30名参加)について、阿部副実行委員長より、中同協 池田事務局長の報告が動画など様々な工夫がされ、楽しく学べ、実のある内容だったと報告があった。
 - ④第3分科会への行政の方の参加費について、庄司実行委員長より提案があり、中小企業振興条例制定運動を広げていくためにも、今回は招待とし参加費を無料にすることが決定。

■討議事項

議題1: 新年度役員人事(案)の件

安藤代表理事より、専務理事職を設置する件、規約変更の提案があり、承認された。事務局就業規則との兼ね合いで、専務理事の役割を常任理事会で検討していく。2014年度に向けた常任理事会(代表理事・副代表理事)の人事(案)が提案され承認された。

議題2: 組織強化の件

- 1) はじめに各支部より、毎月「9日」の増強デー、会員増強の取り組みについて報告があった。青柳副代表理事より、「新DVD」について、各支部例会で例会の前の時間に活用してほしいとの補足説明があった。今回、支部間の連携で入会につながっていることから、さらに支部間の情報共有、連携を強め、積極的に入会の声がけをしていくことを確認した。
- 2) 支部長・委員長・部会長交流会について
 - 日時:11月28日(木)11:00~12:00
 - 会場:ホテルメトロポリタン山形 5F のぼり路
 - 内容:活動交流をとおし、組織強化につなげていく。* 情報を共有し、他同友会の先進的な取り組みに学び、増強の意思統一

をしていきたいと、中村副代表理事より説明があった。

3) 会員増強目標達成の表彰で、さくらんぼ支部が決定した。

議題3: 2014年新春交流会の件

阿部理事より、開催日程、記念講演、実行委員会体制について提案があり、下記のように決定した。

1) 開催要項

- 日時:2014年1月23日(木)15:30開会・会場:山形国際ホテル
 - 講師:髙田自動車学校 代表取締役 田村 満氏(岩手同友会 代表理事)
- #### 2) 実行委員会
- 実行委員長:佐藤一夫氏 ●副実行委員長:阿部秀顕氏 佐藤松雄氏
 - 実行委員:東孝一氏、佐藤啓氏、穂積勇人氏、齊加義三氏、加賀久也氏、工藤規行氏

議題4: 北海道東北ブロック支部長・地区会長交流会の件

安藤代表理事より、開催要項と担当責任者の提案があり、下記の内容が決定。

1) 開催要項(案) (3月北海道東北ブロック事務局長会議で決定)

- 日時:2014年6月26日(木)~6月27日(金)
 - 会場:天童ホテル
 - 内容:1日目/実践報告(案)2つの同友会から報告予定
2日目/さくらんぼ狩り、ティスコ運輸訪問、昼食(紅の蔵)
- #### 2) 担当責任者: 青柳副代表理事、次期副代表理事

議題5: 山形同友会30周年記念事業について

安藤代表理事より、2015年に設立30周年を迎え、30周年記念事業実行委員会を設置することが提案され決定した。全県3大事業(定時総会・経営研究集会・新春交流会)を記念事業として取り組むことが決定。第27回社員共有活動全国研修・交流会 in 山形(2015・11)は、経営研究集会の位置づけとし、実行委員長に阿部理事(社員共有委員長)を選出し、社員共有委員会を中心に実行委員会を担当することが決定。

議題6: 「2016年技能五輪全国大会 in 山形」のチラシ配布依頼の件

伊藤事務局長より依頼主旨の説明があり、同友ニュース12月号に同封することが決定。

議題7: 山形大学インターンシップの件

齋藤理事より、山形大学が2014年度4月から始まる低学年対象のインターンシップの受入企業の協力要請の提案があり決定。

議題8: 事務局冬季賞与について

青柳副代表理事より、10月決算に合わせ12月支給についてどう査定するかとの意見が求められ、常任理事会で検討し、12月理事会に提案することが決定。

■その他

- 1) 「第30回定時総会」の取り組みについて、実行委員長の後藤理事より、副実行委員長、実行委員の人選中であることが報告された。(副代表理事も実行委員)
 - 2) 山形支部会員 山形E旅の金田社長より、「宮崎大学 集光型太陽光発電システム視察研修旅行」への山形同友会後援依頼と同友メール便発送の申し出があり、承認された。
 - 3) 2014年度会員名簿の広告依頼があった。(矢作事務局主任)
 - 4) 次回理事会
 - 日時:12月11日(水)16:00~18:00
 - 会場:同友会事務局 ●議長:中村副代表理事
- ### ■閉会挨拶 中村副代表理事

新会員紹介

◎押野 茂氏

(株)天童ホテル
取締役経営企画室長
業種 旅館業
山形支部

◎池田 敬氏

(有)たいき 代表取締役
業種 食品卸売業
山形支部

◎齋藤 弘氏

公立大学法人 国際教養大学 客員教授
業種 グローバル人材教育機関
山形支部

◎佐藤佐知子氏

(株)ホテルシンフォニー 代表取締役社長
業種 ホテル業(宿泊・宴会)
寒河江支部

◎佐藤高幸氏

(有)シンエイ・LOGISTICS 部長
業種 一般貨物運送業
庄内支部

支部・会員名・企業名・役職変更

- 櫻井建設(山形支部)
専務取締役 櫻井靖氏
⇒ 代表取締役社長 に変更
- (株)サン十字(置賜支部)
取締役副社長 島貴 栄氏
⇒ 常務取締役 に変更

From Editor

★「教育をビジネスの対象として捉える傾向が強くなっている。同友会でもお金を払ったら人が育つという風潮がないか。今一度同友会における共に育つ意義を確認しよう」と本郷社員教育委員長の問題提起で始まった「第26回社員教育活動全国研修・交流会」。2005年に47番目の同友会として誕生した秋田同友会の設営で11/20, 21日に開催されました。★2日目の記念講演を紹介いたします。講師は、上山市在住の佐藤藤三郎氏。1988年に出版された「共に育つ」に掲載された山元中学校の答辞を読まれた方です。昭和20年代の初め、山元中学校(2009年に廃校)の教師だった無着成恭さんが、教え子の中学生たちの生活記録をまとめた教育実践記録集が「山びこ学校」。43人の生徒の一人でもあります。このたび、打ち合わせに同行させていただき、4年前に廃校に

なった山元中学校を訪問し、佐藤さんとのご縁ができました。★当日、山形弁が通じるだろうかと思案しながら緊張し「ずぶん(自分)のあだま(頭)で考える」の講演に聞き入りました。小学生の時、教師が6年間で11人変わり、教師への信頼がなかったといいます。中学生になり、青年教師無着先生と出会い、本気でぶつかり、一生懸命さを信用したと語ります。教師と生徒の深い関わりから、読む力、書く力、考える力、生きる力が培われたのでしょうか。★15歳だった少年は今78歳。「百姓の爺ちゃんだよ」といいながらも補足報告で再登場し「今日、私も学ばせていただきました。グループで出された『成長とは』の問いに答えられません」とその謙虚さに頭が下がりました。降壇され、帰り際に私の耳元で「ありがとさま」の一言に涙があふれてきました。(由)

12月支部 総会のご案内

- ・どの支部の例会にも参加できます。
- ・月に一度は参加しましょう。



さくらんぼ支部 望年会

～いい仲間・まるごと さくらんぼ支部～

2013.12.6(金) 18:30～

場所：イタリアンハウスペコリーノ

東根市さくらんぼ駅前2-17-21 ☎0237-42-1588

参加費：3,500円

12月のさくらんぼ支部例会は、毎年恒例の“望年会”!さくらんぼ支部は、今年、新たに8名の仲間を迎えました。この1年を振り返り、新年の夢、経営者の熱き思いを語り合い、新しい仲間と交流を深めましょう。楽しい企画がいっぱい!みなさまのお越しをお待ちしております。

*なお、プレゼント交換を予定しています。おひとり1品の1000円相当の賞品をご持参いただけますようお願いいたします。ご自慢の自社商品大歓迎です。



寒河江支部

会員オリエンテーション&忘年会

2013.12.9(月) 19:00～

場所：のみや「Uchi」

寒河江市本町2-1-7 ☎0237-84-2366

会費：3,500円

寒河江支部12月例会は会員オリエンテーションを兼ねての忘年会です。

「もっと同友会を知りたい!」「もっと同友会を活用するには…」
「経営の相談もしたいけど」という、よくある会員のみなさまの声にお応えする内容です。

経営のこと、地域のこと、同友会活動など、熱く語り合っ仲間と交流を深め、新たな年を迎えましょう。



置賜支部

望年会

2013.12.3(火) 18:30～

場所：SOME TIME

米沢市門東町3-3-35ファーストビル1階 ☎0238-22-1188

参加費：4,000円

2013年のカレンダーも残すところ少なくなりました。置賜支部12月例会は恒例の望年会です。皆さまにとっては、どんな一年だったでしょうか。

美味しい料理とお酒をおともに、ざっくばらんに語り合う会で。会社のこと、地域のこと、新しい年にかける思いを語り、交流を深めましょう。どなたでも参加できます。お誘い合わせの上、ご参加ください。



庄内支部

グループ討論を改めて考えよう&忘年会 ～学ぶ・気付く・仲良く!～

2013.12.8(日)例会開始16:00～、忘年会開始19:00～

場所：愉海亭 みやじま

鶴岡市湯野浜1-6-4 ☎0235-75-2311

参加費：宿泊 13,000円、

日帰り 8,400円(例会・忘年会・二次会各費用含)

中小企業家同友会の特徴の一つ、そして同友会の強みでもある「グループ討論」。しかし、「グループ討論は苦手だなあ」という声がちらほらと聞こえてまいります。12月例会は、副代表理事でもあるやまがたシティエフエム株式会社 代表取締役 青柳 等氏をお迎えし、グループ討論の意味や、自社や自分へ如何にして活用するかといったご報告をいただきます。その後は忘年会に移り、今年の反省や来年の抱負などを語りながら、和気あいあいと有意義な時間にしたいと思います。

年末のご多用な時期かとは存じますが、ゲスト参加も大歓迎でございますので、お知り合いの経営者の方等お誘いあわせの上でご参加ください。



山形支部

ボウリング&忘年会

2013.12.12(木) 16:45～(プレー開始17:00)

ボウリング16:45～18:00 忘年会:19:00～20:30

ボウリング会場：ファミリーボウル

山形市北町2-2-45 ☎023-684-1601

忘年会会場：山形まるごと館「紅の蔵」

山形市十日町2-1-8 ☎023-679-5101

会費：ボウリング 1,000円(靴代別) 忘年会 4,000円

恒例となつてまいりました、山形支部の1年の締めくくりは「ボウリング&忘年会」で決まり!まずはボウリングで和気あいあいと懇親を深め、その後は紅の蔵さんに会場を移し、今年の反省や来年の抱負を語り合う忘年会となります。師走の多忙な時期かとは存じますが、ちょっとひととき心身共に充電して頂きたいと思つています。皆様お誘い合わせの上、奮つてご参加ください。

景品提供のお願い

参加される方は、自慢の商品・眠っている贈答品など一品の提供をお願い致します。当日、ご持参の上、ご参加いただけますようよろしくお願い申し上げます。

同友やまがた12月号(2013年12月1日発行/通巻249号)



“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2461 山形市南館三丁目26-26 スタジオ・アヴァン 102号
TEL(023)645-5500 FAX(023)645-5583
URL:<http://yamagata.doyu.jp/> E-mail:info@yamagata-doyu.jp